

I. 広東省

1 欧陽衛民・副省長が駐中国トルコ大使と面会

●2日、欧陽衛民・副省長がアブドゥルカディル・エミン・ネオン・駐中国トルコ大使と面会した。同大使は、トルコと広東省の経済・貿易、観光、航空、投資等の分野での往来は密接であり、双方が今後も継続的に交流と協力を深めていくことを希望すると述べた（4月3日付『南方日報5面』）。

2 欧陽衛民・副省長が李鏡波・香港專業・シニア公務員協会会長と面会

●2日午後、欧陽衛民・副省長が李鏡波・香港專業・シニア公務員協会会長一行と面会し、広東・香港・マカオビッグベイエリアの建設加速や広東省と香港の協力を深めることなどを話し合った（4月3日付『南方日報5面』）。

3 李希・省党書記がラファラン元フランス首相と面会

●7日、李希・書記がラファラン元フランス首相と面会し、李希・書記は両国が一带一路や広東・香港・マカオビッグベイエリア建設の歴史的なチャンスを掴み、交流と協力のメカニズムを作りだし、投資・貿易、科学技術イノベーション、文化・教育、エコ環境保護分野での協力を深め、互惠的でウィンウィンの発展をより良く実現させていきたいと述べた（4月8日付『南方日報1面』）。

※ジャン・ピエール・ラファランはフランス第五共和制第17代首相（2002年3月—2005年5月）。当時の大統領はジャック・ルネ・シラク。2018年1月15日、ジャン＝イヴ・ル・ドリアン・仏外相が、ラファラン元首相を中国に進出した仏企業を支援する任務を委任していた。

4 広東省と中国電子情報産業グループが協力合意書に署名

●7日午後、広東省政府、広州市政府、中山市政府がそれぞれ中国電子情報産業グループ有限公司と広州で協力合意書に署名した。馬興瑞・省長、芮煥武・中国電子董事長、陳良賢・副省長、張冬辰・中国電子総経理、温国輝・広州市長が調印式に参加した（4月8日付『南方日報1面』）。

※中国電子情報産業グループ有限公司は、1989年5月に成立。中央が直接管理する国有大型グループ会社であり、中国最大の総合IT企業。電子情報技術製品とサービスの提供が主な業務。総従業員数は11万人強。

5 中国南方電網と中国広核グループがマレーシア・エドラの株を取得

●近日、中国南方電網と中国広核グループが深圳でエドラ株式を取得する。中国南方電網

がエドラの株式の37%を取得した(4月9日付『南方日報8面』)。

※マレーシア・エドラは東南アジア最大の独立発電会社の一つであり、傘下には13の発電所があり、発電容量は8770兆ワット。

II. 広州市

1 清明節期間中、広州への旅行者は400万人超

●8日、広州市観光局によれば、清明節3日間の広州への旅行者は約414万人となり、観光収入は約37億元となった(4月9日付『広州日報2面』)。

III. 深圳市

1 深圳の新築マンション価格が18ヶ月連続で下落

●深圳市国土計画資源委員会がネットで公表したデータによれば、2018年3月の深圳市の新築マンション成約平均価格が54,185元/㎡となり、前年同期比で約1%下落した。2016年の深圳市による調整政策以来、18ヶ月連続で下落した。2016年9月は61,600元/㎡だった(4月3日付『南方日報6面』)。

2 梁振英・全国政協副主席が蓮塘ゲートを調査・研究

●2日午後、梁振英・全国政協副主席は王偉中・市党書記と戴北方・市政協主席を同伴し、蓮塘ゲートの建設状況を調査・研究した。蓮塘ゲートは深圳と香港の越境交通である「東進東出、西進西出」にとって重要なゲートであり、広東・香港協力の重要プロジェクトの一つとして2018年末に完成予定である(4月3日付『深セン特区報1面』)。

3 深圳政府とファーウェイが協力協定に署名

●4日午後、深圳政府とファーウェイが「深圳に根を下ろして、未来を展望する」と題した協力協定に署名することとなり、王偉中・市党書記と任正非ファーウェイ総裁が見守る中、陳如桂・市長と梁華・ファーウェイ董事長が双方を代表して署名した(4月5日付『深セン特区報1面』)。

IV. 海南省

1 ボアオ・アジアフォーラム2018に習近平主席が出席

●3日、中国外交部はボアオ・アジアフォーラム年次総会に習近平主席が出席すると発表した。(4月4日付『海南日報1面』)